

2022年度
学生募集要項

地域戦略人材育成入試
二次募集

地域戦略人材育成入試 **3つのポイント**

- 1、4年間奨学金受給のチャンスがあります。
※奨学金額は授業料の50%相当。
※受給条件には「大学入学共通テスト」の所定科目の受験が必須。
なお、2年次以降の受給には継続条件があります。
- 2、高校時代に挑戦した探究やプロジェクトを評価します。
- 3、プロジェクトの企画・実行を支援します。
起業支援の実績をもつ教職員が思いを受け止め、伴走します。



地域戦略人材育成入学試験要項	1
■ 地域戦略人材について	1
■ 地域創生学部 アドミッション・ポリシー	2
■ 募集人員	2
地域戦略人材育成入試の流れ	3
■ 出願資格	4
■ 出願書類	4
■ 検定料	5
■ 試験科目	5
入学後について	7
出願等に関する注意事項	7
■ 出願上の注意	7
第二次審査に関する注意事項	7
合格発表について	7
■ 発表方法	7
入学手続について	8
■ 入学手続方法	8
■ 初年度納付金（2022年度予定）	8
地域戦略人材育成入試Q & A	8

地域戦略人材育成入学試験要項

はじめに、「地域戦略人材育成入試」を創設した経緯や趣旨、受け入れたい人材像、合格者に対する大学の支援、入学試験で志願者を評価する観点等について、詳しく説明します。これらを熟読し、十分に理解した上で、志望理由書を作成してください。

■「地域戦略人材」の定義(文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」申請書より)

- ①地域に存在する多様なリーダーを束ねられる「巻き込み型の調整役」となる人材
- ②将来の地域について自ら構想し、実現に向けて行動できる人材

■大正大学が「地域戦略人材」を育成する理由

大正大学は、創立100周年を迎える令和8年(2026)に向け、建学の理念である「智慧と慈悲の実践」に基づき、アントレプレナーシップ(新しい価値を創造する思考・行動能力)を身に付けて新時代の地域を牽引する「地域戦略人材」の育成を掲げ、改革を進めています。

歴史ある仏教系の大学がアントレプレナーシップを掲げるのには理由があります。それは、建学の理念を今日の社会に生かそうとすると、自然に「多様な人々に分け隔てなく光を当て、互いに持ち味を生かしあい、弱みを補いあい、社会に新たな価値を創り出していけるプロジェクトリーダーの育成」に行き着くからです。

■地域戦略人材育成入試を創設した理由

大正大学は2020年度、こうした考えを「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」として整理し、文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に申請。採択を受けて事業に着手しました。そして、2021年度その一環として「地域戦略人材育成入試」を創設。こうした教育活動を推進する核(地域戦略人材生)として迎えることとしました。

■入学後「地域戦略人材生」に期待する姿

- ・強い当事者意識に基づき、
- ・実社会で新たな価値を創造しようという志向性をもち、
- ・実社会との関わりから「問い」を生み出し、
- ・これを起点に専門科目を修めて知識や技能を身に付け、
- ・実社会で、自身もつ知識や技能と、他分野の学生や社会人がもつ知識や技能とを掛け合わせ、
- ・大学内や実社会に好影響を及ぼしている。

■「地域戦略人材生」の使命＝地域戦略人材像の先駆的な体現

- 在学中に「自分らしく社会に価値を創造する」プロジェクトを具現化する
 - ・Ⅲ類科目(アントレプレナーシッププログラム)を必履修・必修得とする

■「地域戦略人材生」に対する全学的な支援

- 高校時代に実現したプロジェクトの成果や、計画中のプロジェクトを評価した証として
 - ・奨学金※(1年次)…国公立大学の授業料との差額を減免する
 - ・個別的な入学前教育の実施…年内入試合格者全体に対する施策の一環として提供
 - ・プロジェクトに対する教職員等の伴走
- 入学後の継続的な貢献に対する支援として
 - ・奨学金※(2～4年次)…国公立大学の授業料との差額を減免する
 - GPA(学業平均値)やプロジェクト実施状況で基準を定め、毎年審査して減免の可否を決定
 - ・プロジェクトに対する教職員等の伴走

※奨学金額は、地域創生学部の授業料の50%相当。

■「地域戦略人材生」に対する学科の支援

○該当学生の思いや展望を傾聴し、可能な範囲でゼミや卒業研究をはじめ、主にⅡ類（学科の専門科目）の諸科目において、授業の題材として扱う等の形で対応する。

オフィスアワー等を活用して、専門的な知見の活用等に関する相談にも応じる。

■「地域戦略人材育成入試」で受け入れたい学生

○学部のアドミッション・ポリシーに掲げられた資質・能力を備えている。

○実社会や実生活と自己の関わりから生まれた問いに基づいて課題を設定し、プロジェクトを立ち上げ、実践した経験を持っている。

○志望する学科の専門科目につながる学習経験（探究活動等の一環として高校レベルを越えた内容を自ら学び深めた経験）を持っている。

※2022年度入学生は地域創生学科に限定しますが、2023年度入学生からは全学科に門戸を開く予定です。

■入学試験における評価の観点（留意点）

○入学試験では、このような姿につながる経験や資質・能力を高校時代にどこまで身に付けているか、入学後の伸びがどこまで期待されるかを評価します。特に強調しておきたいのは、以下の各点です。

- ・大学の主たる役割は「専門性の高い知識・技能を習得できる学習機会の提供」であることから、
- ・大学の専門科目を「実社会との関わりから生まれた問い」を起点に探究的に学ぶことが期待され、
- ・それには、高校時代に挑んだプロジェクトが、高校の諸科目と分断されていることは好ましくなく、
- ・すなわち、「プロジェクトの実践成果」だけを拠り所に語る「大学の学修への志望動機」には疑念が残り、
- ・「実社会との関わりから生まれた問いを起点に諸科目の学習を深めた経験」や、
- ・「諸科目の授業で習得した知識・技能をプロジェクトに活用した経験」が大切と考え、
- ・それには「実社会との関わりを通して生まれた問い」を評価するのがよいと考えています。

■地域創生学部 アドミッション・ポリシー

知識・技能	①地域創生に関する学問領域を学修するために、必要な基礎学力や実技能力を身につけている。 ②高等学校で履修する国語・英語・地歴・公民・数学について、高等学校卒業相当の知識を有している。
思考・判断・表現	③ものごとの課題を解決する道筋を、深く考えることができる。 ④自らの意見を、口頭や文章で順序立てて伝えることができる。
関心・意欲・態度	⑤地域社会に対して深い興味と関心を持ち、地域創生や地域活性化のために貢献していこうとする強い意欲を持っている。 ⑥地域創生に向けて、他者との協働によって目標を達成しようとする姿勢を持っている。

■募集人員

地域創生学部	若干名
--------	-----

地域戦略人材育成入試の流れ

※社会的情勢に鑑み、日程が変更となる可能性があります。その際は、大正大学受験生応援サイト「ココカラ」等でお知らせします。【URL：<https://kokokara.tais.ac.jp/>】



■出願資格

下記の条件をすべて満たす者

- ①本学の建学の理念及び地域創生学部の特設的教育内容を十分に理解した上で、地域創生学部への進学を強く希望する者
- ②2022年3月高等学校または中等教育学校卒業見込の者
- ③高等学校最終学年の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- ④「地域戦略人材育成入試」のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、入学後、所定の授業に意欲的に取り組む意思のある者
- ⑤2022年度「大学入学共通テスト」の所定科目を受験した者（授業料減免の必須要件）

大学入学共通テスト 1月15日（土） 1月16日（日） [試験会場] 大学入試センターより 定められた会場	教科群	所定科目
	国語	「国語」の受験が必須
地理歴史・公民	左記教科群の科目から2科目	
数学①	「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」	
数学②	「数学Ⅱ」または「数学Ⅱ・数学B」	
理科①	左記教科群の科目から2科目	
外国語	「英語」（リスニングを含む）	

■出願書類

①志願票	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ上の本学所定の書式を各自で印刷し、必要書類を記入のうえ検定料を納入してください。・写真を1枚（縦4cm×横3cm）必要箇所に貼付してください。（上半身脱帽・出願時点3ヵ月以内撮影・スナップ写真不可）・写真裏面には、<u>学科名と氏名を必ず書いてから貼付してください。</u>・受験の時、眼鏡使用の者は眼鏡着用の写真を貼付してください。
②志望理由書	ホームページ上の本学所定の書式に、 受験者本人 が地域創生学部の志望理由を3,000字以内で記載してください。
③高等学校調査書	<ul style="list-style-type: none">・文部科学省指定の様式により、出身高等学校で作成した大学受験に用いる調査書で「全体の学習成績の状況」「学習成績概評」を記入し、発行責任者が厳封したもの。外国の高等学校への留学や、外国の高等学校からの編入学など、3年間のうち成績の記入できない年次がある者については、高等学校で認定した取得単位数のみ記入し、認定の元となる「成績証明書」の原本（高等学校長が原本証明したものでもよい）を添付してください。
④根拠資料(任意)	②の志望理由書について、根拠となる資料があれば、合わせて7点まで添付を可とします。その場合、送付資料一覧（様式自由）も必ず添えてください。
⑤成績請求票	大学入試センターより送られてくる <u>成績請求票を1枚ご提出ください。</u>

- 提出書類は、必ず黒のボールペンまたは万年筆で記入してください。（消えるゲルインキボールペン不可）
- 提出された書類および検定料は原則、返還いたしません。

■出願書類送付先

〒114-0023 東京都北区滝野川六丁目2番3号

株式会社 ティー・マップ イノベーション事業部 宛

- 書留・速達で郵送願います。

■検定料

30,000円

■試験科目

第一次審査

第一次審査（書類審査）では、志望理由書・調査書を通して、以下の観点から、主に志願者の「これまで」を評価します。

●志望理由書（志願者本人が作成）（配点150点）

○2頁の「入学試験における評価の観点（留意点）」および以下に示す「記述にあたって留意してほしい観点」①②を踏まえて、3,000字以内で記述してください。

○記述する内容

(1)学校や地域における様々な活動を通じて、高等学校教育で身につけるべき資質・能力をどのように高めてきたか、具体的な事実やエピソードを交えて記述してください。

(2)本学地域創生学部を志望し、「地域戦略人材育成入試」を出願するに至った経緯を、学校や地域における様々な活動とつなげて具体的に記述してください。

○記述にあたって留意してほしい観点

①探究性（思考力・判断力・表現力）

- ・実社会や実生活と自己の関わりから問いが生まれた経験を持っているか？
- ・生まれた問いの量や質は、どのような域にあるか？
- ・生まれた問いを起点に、どのような探究を行い、どのような知識を獲得したか？
- ・探究の過程で行った情報収集・整理・分析の量や質は、どのような域にあるか？
- ・探究の過程で、志望する学科の専門科目に迫る経験をできているか？
- ・探究の過程や成果等は、志望する学科の学修内容等に、必然性をもってつながっているか？

②主体性・多様性・協働性

- ・自分は何を大切にしていきたいと考えているか？
また、それはどのような経緯を通して自覚したか？
- ・他の誰もが投げ出しても、自分だけはやり抜いていけそうなことは何か？
また、それはどのような経緯を通して自覚したか？
- ・他者にはない自分の強みは何か？また、それはどのような経緯を通して自覚したか？
- ・「自己の在り方、生き方と一体的で不可分」といえる当事者性の強い課題を発見できているか？
それはどのような課題で、どのような経緯を経て発見するに至ったのか？
- ・課題に対する当事者性の強さを物語る具体的な事実は、どの程度あるのか？
- ・設定した課題の解決に向け、どのようなプロジェクトを立ち上げたのか？
- ・プロジェクトは、どこまで共感をもって受け止められ、広がりをみせたか？
- ・課題解決の過程において、他者と強みを活かしあい、弱みを補いあい、価値を創造した経験はあるか？
その過程で、どのような困難を、どのように克服したのか？
- ・プロジェクトの過程や成果は、誰に、どれほどの好影響を及ぼしたか？

●高等学校調査書（配点50点）

- ・「全体の学習成績の状況」およびその他の記載内容を踏まえて審査します。

●根拠資料（任意）

※志望理由および地域活動について、それぞれ根拠資料の添付も可とします。根拠資料を添付する場合は、合わせて最大7点までとし、必ず送付資料一覧（様式自由）を添付してください。

第二次審査**オンライン方式**

第二次審査（プレゼンテーション・面接）では、主に志願者の「これから」を評価します。

2 頁の「入学試験における評価の観点（留意点）」を改めて確認し、以下に示す評価項目①～④について発表または応答できるよう、準備してください。

- ・ZOOMアカウントは、第一次審査合格者へ通知します。

■試験科目

プレゼンテーション（配点100点）

面接（配点100点）

- ・プレゼンテーションの際に、ZOOMで資料を共有していただきます。
- 試験当日に使用する資料を、3部送付してください。（第一次審査合格者へ封筒を同封します。）
- 所定の封筒で【2月15日(火)必着】で送付してください。

■試験時間

9：30～順次実施（プレゼンテーションおよび面接を含め、一人当たり合計30分程度）

■評価項目

①自己探究計画（自分の個性をどのように磨いていきたいか？）

- ・自分はどのような強みや持ち味の持ち主で、今後どこまで磨きをかけ、どのような自分になりたいか？
- ・自分の強みや持ち味を伸ばすために、学生時代に挑戦したいことは何か？

②学問探究計画（4年間で何をどのように学びたいのか？）

- ・どのような経緯から、どのような問いを持ち、どこまで解明し、どこから先が未解明となっているか？
- ・入学後、どのような問いに対して、どんな科目を、どのように学んでいこうと考えているか？

③価値創造計画

- ・自分が他者と協働することで、どのような価値を創りだしていきたいか？
- ・新たな価値の創造を通して、将来、どこで、どのような地域や社会の創造に貢献していきたいか？
- ・それは、どのSDGsとどのように関連しているか？
- ・手始めに、どのような価値を創造していくために、誰とどのような挑戦をしていきたいか？
- ・以上につき、内容が具体的で、様々な可能性を検討しているか？
- ・地域や社会に価値を創りだしていく上で、自分の稀少性は何か？

④コミュニティ貢献計画（自身の貢献による学びのコミュニティの発展）

- ・大学在学中、所属する学科を地域や社会と見立てた時、他の学生たちの学びや活動をより豊かなものにしていくために、どのように貢献していけるか？

入学後について

- ・奨学金受給者の2年次以降の継続要件は、GPA（学業平均値）が2.8以上であることです。
※受給条件には、「大学入学共通テスト」の所定科目の受験が必須となります。
- ・入学後、地域創生学科のカリキュラム以外に、Ⅲ類科目（アントレプレナーシッププログラム）の受講が必須となります。プログラムの詳細は、本学ホームページ等でお知らせします。

出願等に関する注意事項

■出願上の注意

- ・出願書類に不備や不足がないか、よく確認してください。
- ・一旦納入された検定料および書類は、原則返還しません。また、他の試験へ検定料を振り替えることもできません。
- ・健康診断書を提出する必要はありません。
- ・出願書類に不備や不足があった場合は、受験を認めない場合があります。

身体等に障がいのある受験生は、出願期間開始の1ヵ月前までにアドミッションセンターにご相談ください。

第二次審査に関する注意事項

1. 2022年2月14日(月)17時より「事前接続テスト」を行います。必ず出席してください。詳細は、第二次審査に関する書類（第一次審査合格者宛に送付）で、ご確認ください。
2. 第二次審査は、オンライン方式です。ビデオ機能を使用しますので、カメラ付（カメラは内蔵または外付けのいずれも可）のパソコンもしくはタブレット端末を準備してください。
3. 出席確認の際に、「受験票」が必要ですので、手元に用意してください。

合格発表について

■発表方法

①第一次審査

■郵送にて発表

受験者全員に、審査結果を発表日の午前中に速達・簡易書留にて発送します。
よって審査結果の到着は、発表日の翌日以降になる場合があります。

②第二次審査

■郵送にて発表

受験者全員に、審査結果を発表日の午前中に速達・簡易書留にて発送します。
なお、第二次審査合格者には、「合格通知書」と「入学手続書類」を、合格発表日の午前中に速達・簡易書留にて発送します。よって通知の到着は、発表日の翌日以降になる場合があります。

入学手続について

入学手続は、【入学手続時納付金の振込】と【入学手続書類の提出】をもって完了します。（どちらか一方だけでは手続完了となりません）

■入学手続方法

1. 入学希望者は、合格者に送付する入学手続要項に従い、試験ごとに定められた入学手続締切日までに必要書類と学費等の納付金を納入してください。
2. 納付金については、入学金のみで一旦手続きをすることができます。
3. 「入学金のみ」で入学手続した場合は、残りの金額を「授業料等納入期限」までに納入してください。
※詳細は、「入学手続要項」（合格者に送付）を参照してください。

■初年度納付金（2022年度予定）

学部名	学科名		入学金	授業料※	施設設備費※	父母会費	鴨台会 (同窓会)費	初年度納付金 合計
地域創生学部	地域創生学科	減免前	200,000	1,000,000	250,000	5,000	7,500	1,462,500
		減免後		500,000				962,500

※ 授業料および施設設備費は、分割納入が可能です。

◎2022年度納付金額の詳細につきましては、「2022年度入学手続要項」を必ずご確認ください。なお、在学中に授業料その他の納付金について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納めていただくことになります。

地域戦略人材育成入試 Q&A

■審査について

Q： 第一次審査と第二次審査に分かれています。それぞれの評価点数が持ち越されるのでしょうか？

A： 第一次審査の点数は、第二次審査に持ち越されません。

Q： 第二次審査のプレゼンテーションですが、なぜ資料を3部用意するのでしょうか？

A： 3部ご用意いただくのは、審査員及び記録用として必要だからです。

■大学入学共通テストについて

Q： なぜ、「大学入学共通テスト」で6教科群の受験を出願資格としているのでしょうか？

A： 「大学入学共通テスト」の受験を求めているのは、高校生に必要な学習習慣を身に付けていて欲しいからです。学習習慣は大学での学修を有意義なものとするためにとても重要な要素です。また、自身と専門性の異なる人々と組んで新たな価値を創造していく上でいわゆる文系科目だけではなく、理数科目も含めた幅広い教科の基礎知識を身につけていることがとても大切だと考えています。よって、「大学入学共通テスト」の成績ではなく、あくまでも所定科目の受験を求めているのです。

■授業料の減免について

Q： 授業料の減免は、「大学入学共通テスト」を受験していないと適用されないのでしょうか？

A： はい、そのとおりです。大学入試センターの成績請求票を提出してもらい、所定の科目を受験していたかどうかを確認します。その結果により授業料減免を決定します。

したがって、「大学入学共通テスト」を受験していなかったり、所定科目の受験が一つでも欠けていた場合は授業料は減免されず、所定額を納入いただくことになります。



大正大学

スガモで育む日本の未来。

■受験生の個人情報の取扱について

受験生の皆さんの個人情報については厳重に管理し、入学試験の出願から実施および合格発表、学籍発生までの入学手続き作業、ならびに本学における学生生活の開始にあたり大学が必要と判断した情報を提供する目的に利用します。

〈出願に関する問合せ〉

大正大学

(担当：株式会社ティー・マップ イノベーション事業部)

〒114-0023 東京都北区滝野川六丁目2番3号

電話 03-5980-8469(直通)

※事務取扱時間

月～金 10:00～17:00(土曜・日曜・祝日は休業)